◎基本情報

-										
lali.	事務事業名		市民の健康づくり対策事業	担当 部署	健康福祉部 健康増進課					
絲	合計画体系			根拠法令		健康増進法、自殺対策基本法				
	基本政策(大項目) 2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	計画	など	() 医原珀连広、日校对泉基平広				
	政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると		開	平成 ▼ 17 年度				
	(小項目)		保健・医療	事業	始	17 年度				
	施策	7	健康・医療対策の推進	期間	終	未定 ▼				
	基本事業 1		健康増進計画「健康なると21(第二次)」の推進		期	本 上				

◎事業	概要(PLAN)							
事業	誰(何)を対象に	☑個人 ☑世帯 ☑団体	<u>₹</u> 0)他 [内部管	管理		
対象	しているか	市民						
事業 目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	「健康なると21(第二次)」計画に基づき 予防を行うことにより、市民の健康度を			活習慣	病の発症	走予防と	重症化
事業計画	29年度に何を 計画していたか	「健康なると21(第二次)」の推進のため、生 プの実施、健康教育及び健康相談による市民 平成30年度の自殺予防に関する計画策定に 食生活改善事業として、栄養教室、食のネッ イト)育成講座の開催による食育推進のための	の健康の に向け、国 マーク会	維持・向」 のガイド - :議等のま	とに取り組 ライン等の	引む。)情報収集	₹、検討。	
		指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
成果 目標	事業目標の達成度合	ヘルスメイトの数	30	30	30	30	30	人

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	29年度は目標を達成 するため、手段として どのような活動を行っ ているのか
----------------	---

「健康なると21(第二次)」の中間評価、健康なると21推進ワークショップによる健康 増進に関する各組織の取り組み事例の共有。キッズ運動教室、健康ジョギング教室 の実施。市内量販店における自殺予防キャンペーンの実施。栄養教室等の開催、若 年世代を対象とした食ねっと通信の発刊。ヘルスメイト育成講座の開催によるヘルスメ イトの人材育成及び親子の食育推進、減塩推進活動等ヘルスメイト活動の支援。

	,	, ,	10713	イトの人材育成及ひ親子(の食育推り	生、减温推划	進 沽	ルスメイト	沽虭の文張	₹ 0	
事	業	実	施手法	□ 市実施 □ 一部委託 □ 委託 □ 補助金 □ その他							
			指標	票名	28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位	
活動指表		1	ヘルスメイト	の地域での活動回数	12	12	10	10	10	回	
の活動量をす指標	示	2	ワークショップ	プの参加者数	15	19	21	21	21	人	
成果指対象にどのうな効果が	ょ	<	ルスメイトの勢	数	33	31	1	I	1	人	
あったか示す	g		目標達	成率(実績/目標)		103.3	-	-	_	%	
今 年	今年度の准歩状況			計画どおり	3	医業全体の	准挑状湿	1	計画どおし	j	

<mark>今年度の進捗状況</mark> 計画どおり 事業全体の進捗状況 計画どおり (千円)

	年 度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計	
		当初予算額	0	576	(125	612	1,313	
	補正予算額 0 0	0	0	0					
		繰越予算額	0	0	(0	0	0	
財源内訳	亚世00年由	全体予算額	0	576	(0 125	612	1,313	
	平成29年度	決算額	0	473	(132	704	1,309	
		繰越額	0	0	(0	0	0	
		L从世	正規職員(7,234千円/人) 臨時職員		(2,492千円/人)	総人件費	総事	事業費	
		人件費	0.8 0.		0.0	5,787	7,	7,096	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:市民の健康づくり対策事業】

						- P 4 - 4 P - 10/14 -	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	年	度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業	美費	1,559	1,309	678	678	678
事業費推移	うち-	一般財源	988	704	377	377	377
	人件	- 費	1,427	5,787	5,787	5,787	5,787
	総事	業費	2,986	7,096	6,465	6,465	6,465

◎項目別評価(CHECK)

<u> </u>									
評価	項目	評価	値	所見欄					
①活動に対	有効性	B:概ね有効怕	生があった	小児から成人までを対象として事業を効果的に実 施することができた。					
する評価	効率性			地域での食育推進のための人材育成や量販店で の自殺予防対策キャンペーン等、効率的に実施で きた。					
	指標名	ヘルスメイ	イトの数						
②成果に対	目標	30	人	男性の参加者もあり、目標人数を上回る登録人数					
する評価	実績	31	人	となった。					
	評価	A:目標を達	成できた						
③総合的	りな評価	В	3	各種保健事業で幅広い年齢層への働きかけができたが、今後も生活習慣病発症予防及び重症化予防のため継続的に取り組む必要がある。					

◎今後の方向性(ACTION)

@ / B 03/3 -												
課題		健康なると21の中間評価では、肥満者の割合は減少していないことから、市民への働きかけを強化していく必要がある。										
今後の方	向性	1	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3					
↓今後の	方向性	を踏ま	えた上で、以	下の欄に記入してくた	ださい。							
电华七家	H30			期とするアクションプラ		建康なると21の推進。 を盛り込み、健康増進						
実施内容	H31:	年度	健康なると	21アクションプラン([自殺対策計画含む)の)推進。						